3　計画の基本事項

（1）計画策定の趣旨

朝日村第3次環境基本計画は、現在の環境情勢を展望し、また、朝日村第６次総合計画（令和2年度～令和11年度）の方針を踏まえ、今後、5年間で実施する村の環境施策を示すものです。

（2）計画期間

令和２年度～令和6年度

（3）計画の位置づけ

朝日村第3次環境基本計画は、朝日村第6次総合計画で示された環境施策を、より具体的に実現していく指針となるものです。

また、国の「第五次環境基本計画」や「長野県第四次環境基本計画」（H30～R4年度）との整合性をはかり、朝日村として取り組むべき環境施策を推進します。

4　計画の推進体制と進捗管理

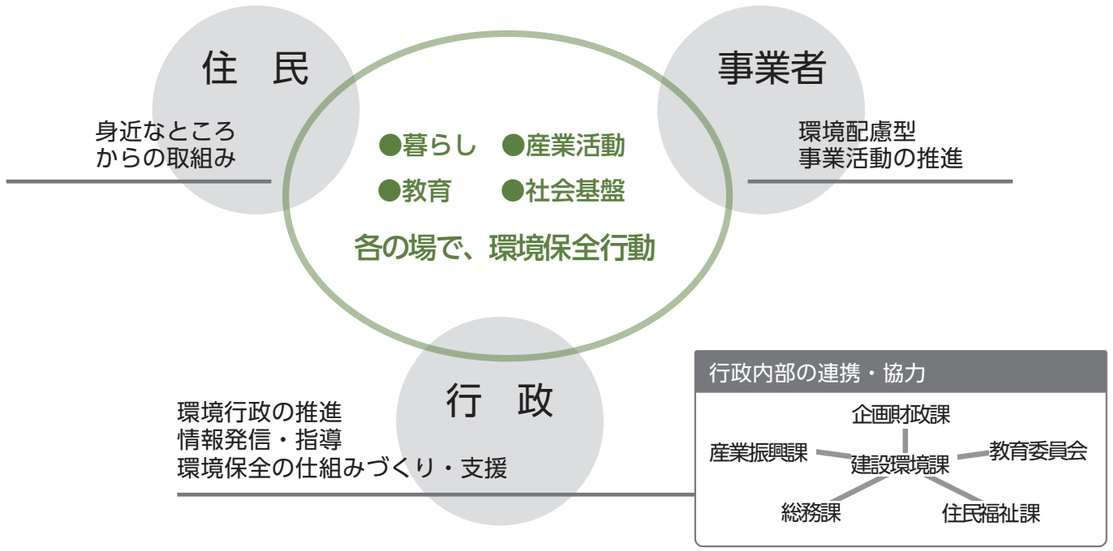
●計画の推進体制

環境保全のために、行政各課、住民一人一人、各分野の産業・事業者が、それぞれの行動において役割を果たしていきます。

●計画の進捗管理

計画の進捗を確認するため、毎年、環境審議会を開催し、年間の取組み状況と成果を管理するものとします。

計画の推進体制図



朝日村 第３次環境基本計画
令和２年３月

発 行　朝日村役場　〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字古見 1555 番地 1
電話 0263-99-2001　朝日村 HP https://www.vill.asahi.nagano.jp/

朝日村

第３次環境基本計画

〔概要版〕

令和2年3月

1　計画の基本理念

本計画の基本理念を以下のように定めます。

豊かな自然と融合したくらしをまもり
みんなで学び、村の魅力を高めていく

●豊かな自然と融合したくらしをまもる

鉢盛山をはじめ、ハト峰、烏帽子岳などの山々に囲まれ、それらを水源とする鎖川をはじめとする水環境、そこを生息区域とする多種多様な動植物に恵まれています。そして、これらの自然環境は、朝日村の農業を支え、美しい景観を形成しています。

このように地域の最大の資源ともいえる村の自然環境やそれと融合した産業、生活を今後も守り、次世代に伝えていきます。

●みんなで学び、村の魅力を高める

朝日村の環境を保全するためには、行政だけでなく、住民や地域の事業者などさまざまな主体の取組が欠かせません。村の環境問題について、みんなで学び、考え、取り組んでいきます。

さらに、これからは、環境を守るだけでなく、村の魅力として磨き上げ、地域全体でその恩恵を享受していきます。

2 環境の概念と5つの基本目標

環境問題は、人間の活動によって、周囲の環境が変化したことにより発生する諸問題です。環境基本計画は、このような環境問題を解決するため、あるいは未然に防ぐための計画です。
環境基本計画において、私たちが取り組むことを5つの基本目標に整理しました。

①生活環境を守る

私たちが安全に快適に生活していくためには、安全な水、きれいな空気などを守ることや、ごみを減らし、持続可能な循環型社会をつくっていくことが必要です。

現状・課題

- 村の水や大気については、良好な環境が維持されています
- 地域の特色として風食の被害について検討が必要です
- ごみの減量に引き続き取り組む必要があるとともに、最終処分場について、今後具体的な対策を検討する必要があります
- 道ばたや川辺にごみのポイ捨てがみられます

計画で取り組むこと

基本目標 きれいで安全な水や空気を守り、いつまでも持続的に暮らせる村をつくる

水環境大気環境の保全
水源の保全／大気汚染の防止／ダイオキシン対策／小規模焼却炉の撤去促進

くらしと調和した産業の推進(公害の防止)
野焼き・悪臭対策／騒音・振動防止／風食防止対策／工事に伴う環境影響評価の義務付け

不法投棄の撲滅
不法投棄の監視、抑制／ポイ捨て禁止の啓発

ごみを減らし持続的に暮らせる社会(循環型社会)の実現
ごみの減量化促進／ごみを出さない消費生活の促進／ごみの適正処理の推進／農業系廃棄物の適正処理

②自然環境を守る

朝日村は美しく、豊かな自然に恵まれています。この自然を次世代に残すため、自然環境を保全していかなければなりません。

現状・課題

- 自然と調和した農業・林業に取り組む必要があります
- 松くい虫の被害が深刻化しています
- 有害鳥獣については、防護柵の効果が見られますが、引き続き対策が必要です
- アレチウリなど外来動植物への対策が必要です

計画で取り組むこと

基本目標 自然環境と共生した村をつくる

里山・農地の整備・保全
山林の整備保全(松くい虫対策)／農地の保全(遊休荒廃地の抑制)／環境配慮型農業の推進／有害鳥獣対策

水辺環境の保全
河川湖沼の水質保全／水辺の生態系保全／ビオトープの整備保全

生物多様性の保全
貴重動植物種生育・生息調査保護／外来動植物の駆除

③地球環境を守る

温暖化などの地球環境問題は、全世界で解決すべき課題です。朝日村でも二酸化炭素等の排出が少ない社会を目指す必要があります。

現状・課題

- 地球温暖課対策について、村でも取り組む必要があります
- 省エネルギーを推進し、再生可能エネルギーの普及を進める必要があります

計画で取り組むこと

基本目標 地球温暖化対策のためのかしこい選択をする

省エネルギーの推進
節電、省エネに関する啓発／省エネルギー製品の導入促進

再生可能エネルギーの導入促進
太陽光発電の導入／再生可能エネルギー発電設備設置事業と環境等との調和に関する条例の制定／バイオマス施設の普及

④環境について学ぶ・取り組む

村民一人ひとりが環境問題について学習し、日常生活の中で環境保全に取り組むことが必要です。

現状・課題

- せせらぎサイエンスや河川清掃など、環境に関する住民活動が継続的に行われています
- 住民による環境学習をさらに、推進していく必要があります

計画で取り組むこと

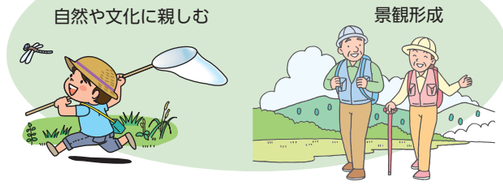
基本目標 朝日村の環境を、みんなで学び、保全する

環境学習の促進
各種環境学習の推進(公害、生態系保全、ごみ減量等)／小中学生の環境学習の推進

住民による環境保護活動の促進
環境整備活動の支援／環境美化活動の推進

⑤環境を味わう・磨く

地域の子どもたちが村の自然に触れ、自然や生き物の大切さを学ぶ機会を創出します。また、村民全体で環境問題を学び、行動に移すことが求められます。



現状・課題

- 環境を保全するだけでなく、適切に利用していく必要があります
- 地域の子どもたちが村の自然を十分に楽しめるよう整備していきます
- 景観の保全にも努める必要があります

計画で取り組むこと

基本目標 朝日村の環境を味わい、磨き上げる

地域の自然や文化に親しめる環境づくり
親水施設の整備／観光への活用

美しい景観の保全・形成
屋外広告物等景観規制の継続